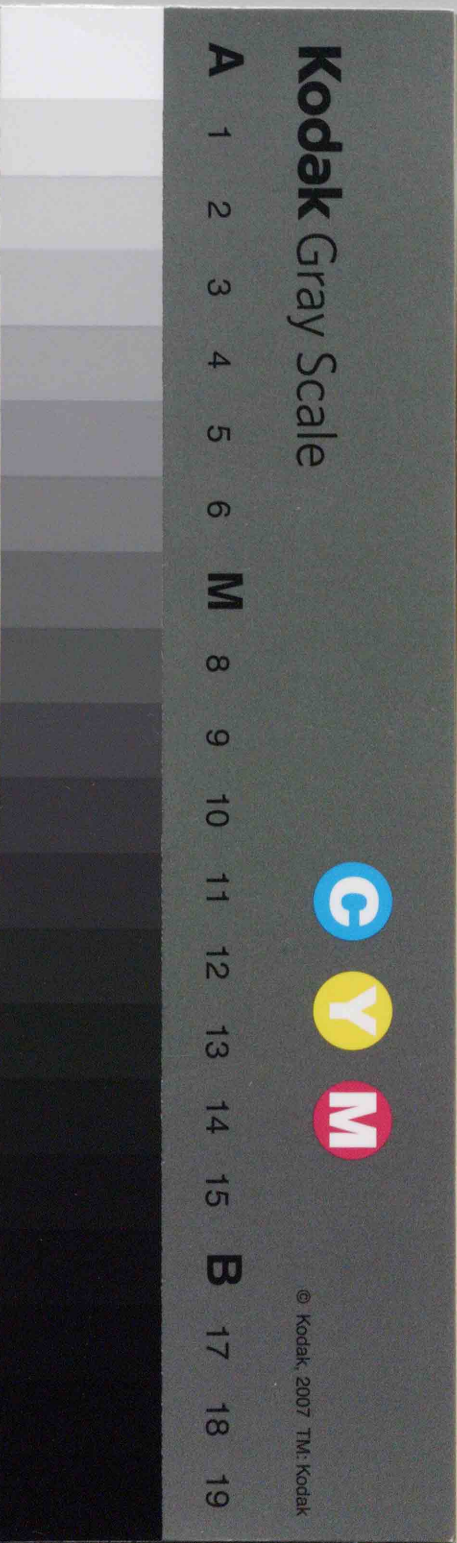
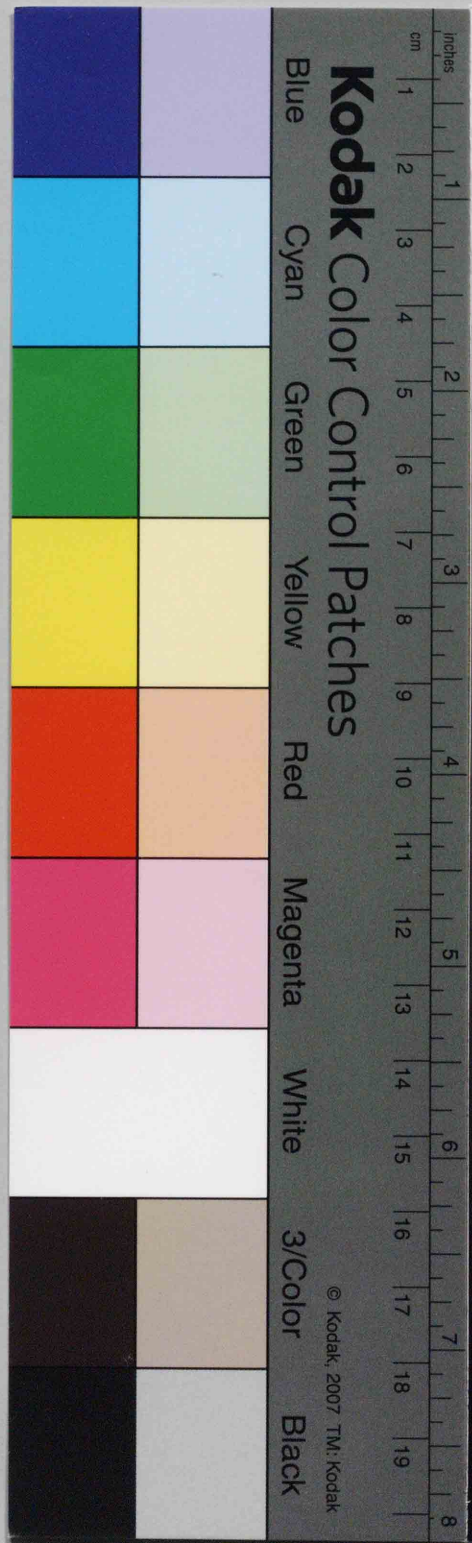
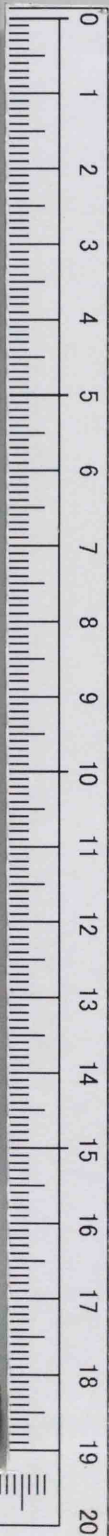


3a
290
明38

教科
31-
2000



42724

教科書文庫

4
290
31-1904
20000 71213



資料室

教科書文庫

4

290

31-1904

2000071213

3d
290
明38

文部省著作

小學地理

發行所

教育圖書合資會社



広島大学図書

2000071213



目録

第五 近畿地方……………一

 滋賀縣……………二

 京都府……………四

 奈良縣……………八

 三重縣……………十

 和歌山縣……………十二

 大坂府……………十三

 兵庫縣……………十六

第六 中國地方……………二十

 岡山縣……………二十一

 廣島縣……………二十三

 山口縣……………二十五

 鳥取縣……………二十七

 島根縣……………二十八

第七 四國地方……………三十

 德島縣……………三十一

 香川縣……………三十三

 愛媛縣……………三十四

 高知縣……………三十六

第八 九州地方……………三十七

 福岡縣……………三十九

 大分縣……………四十二

 佐賀縣……………四十三

 長崎縣……………四十五

 熊本縣……………四十七

 宮崎縣……………四十九

 鹿兒島縣……………五十

 沖繩縣……………五十三

第九 北海道……………五十五

第十 臺灣……………六十五

第十一 地球……………七十二

小學地理二

第五 近畿地方

近畿地方十
五國

二府五縣

境界

大坂平野

近畿地方は、本州中部の西南に連り、中に、山城、大和、河内、和泉、攝津、伊賀、伊勢、志摩、近江、丹波、丹後、但馬、紀伊、淡路、播磨の十五國あり。これを、行政上、京都、大坂の二府と滋賀、奈良、三重、和歌山、兵庫の五縣とに分つ。

この地方は、北は、一部、日本海に臨み、南は、半島をなして、太平洋中に突き出づ。半島の東には、伊勢海、西には、大坂灣あり。また、南北の兩部には、山多けれども、中部には、平野ありて、大坂平野、もとも、いちじるし。平野の地方は、交

通すこぶる便にして、住民多し。

この地方は、早くより開けて、代代の天皇のつねに、都を定めたまひたりし所なれば、歴史上の關係も、とも深く、名所、舊蹟はなほだ、多し。

滋賀縣(近江)

滋賀縣は岐阜縣の西南に連る。その四境には、山脈をめぐらし、中央に琵琶湖あり。



位置

琵琶湖

勢多川

大津市

琵琶湖疏水

比叡山

比良岳



琵琶湖は、わが國第一の大湖にして、廣さ、およそ、本縣の六分の一に及ぶ。湖は、魚類に富み、また、運輸の便多し。その水、流れて、勢多川となり、京都府に入りて、宇治川となる。湖の附近には、肥沃の平野ありて、米、麻、菜種などを産す。

湖の西南岸に大津市あり、縣廳の所在地なり。琵琶湖疏水は、この地よりおこりて、京都にいたる。大津の西北に比叡山あり、京都府にまたがる。その北方に比良岳あり。比叡山上の延暦寺は、大津の園城寺

鐵道

とともに、名高し。

岐阜縣を経て來れる鐵道東海道線は、伊吹山の南より、湖東の米原にいたり、大津を経て、京都府に入る。途中彦根、草津などより分るる鐵道あり。また、米原より分れて、北に向ひ、長濱を過ぎ、賤岳の東を経て、福井縣に入るものあり。彦根には、名高き公園あり。長濱は、濱縮緬の産地として、あらはれ、賤岳は、古戰場として、知らる。

京都府(山城、丹波の大部、丹後)

位置

山城平野

京都府は滋賀縣の西に連る。その西北部には、山多く、東南部に、やや廣き山城平野あり。桂、賀茂、宇治、木津の諸川、この平野に集りて、淀川となる。また、西北部山地の諸水

鐵道

は、多く、由良川に集る。

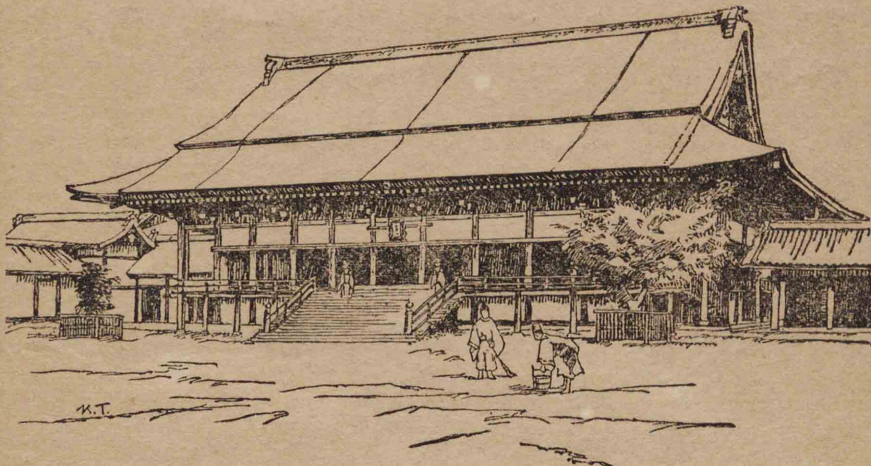
滋賀縣を経て來れる鐵道は、京都より、さらに、西南に進み、大坂府に入る。また、京都より、南に向ひ、伏見、宇治などを經て、奈良縣に入るもの、西北に向ひて、丹波に通ずるものなどあり。

京都市

京都市は、府廳の所在地にして、賀茂川にまたがり、東京より、およそ、百四十里をへだつ。その人口四十萬に近く、わが國第三の都會なり。この地は、桓武天皇の御代より、一千餘



京都御所
二條離宮
社寺
琵琶湖疏水



(殿宸紫)所御都京

年間の帝都にして、その町筋の正しきこと、碁盤の目の如し。京都御所は市の北部にあり、二條離宮はその西南にあり。また、市の東部には、帝國大學、博物館などあり。平安神宮、北野神社、知恩院、本願寺をはじめ、名高き神社、佛寺はなほだ、多く、名所、舊蹟に富めること、全國にらびなし。琵琶湖疏水は、市の東部を過ぎて、賀

伏見
宇治
笠置山
福知山
舞鶴
宮津
天橋立

茂川に入る。交通、灌漑の便あり。また、その水力を利用したる発電所の設あり。市中、工業盛にして、産物には、織物、陶器、漆器、銅器など多く、ことに、西陣織の名、世に高し。伏見は京都の南に連る。淀川によりて、大坂との間に、汽船の便あり。宇治は、いにしへより、茶の産地として、世に聞ゆ。ここに平等院あり。宇治の東南にあたりて、笠置山あり。後醍醐天皇のかつて、行在所としたまひし所なり。由良川に沿ひて、福知山あり、大坂より、鐵道來り通ず。由良川は、これより、東北に向ひて、日本海にそそぐ。川口の東南に、舞鶴の軍港あり。西北に宮津港あり。宮津港は宮津灣に臨み、その北方には、天橋立の、長く、突き出づるあ

りて、景色はなほだよし。宮津の西北、峯山の地方には、縮緬の産多し。

奈良縣(大和)

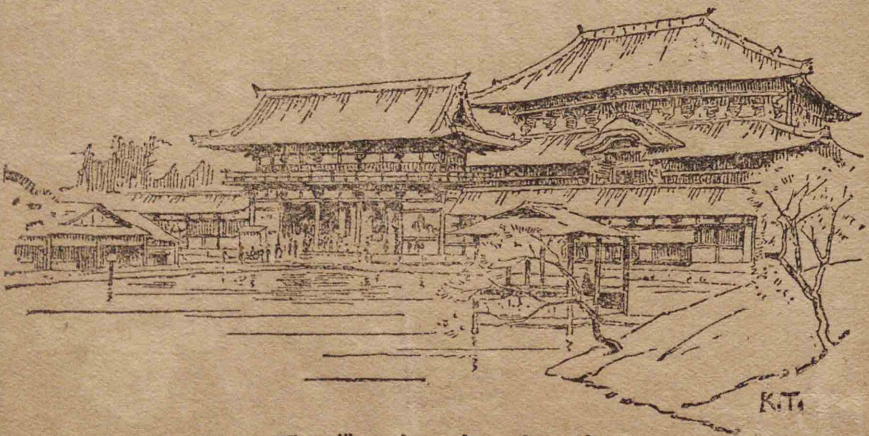
奈良縣は京都府の東南に連る。西北部には、平野あれども、他は、すべて、山地なり。ことに、南部地方は、山深くして、森林に富み、多く、良材を産す。山には、山上岳、大臺原山など、名高し。十津川は、山上岳より出て、南に流れて、熊野川となり、吉野川は、大臺原山より出て、西に流れて、紀川となる。平野の地方、鐵道の便、よく、そなはり、京都

峯山 位置 山上岳、大臺原山、十津川、吉野川、鐵道



奈良市

より、南に向ひて、櫻井にいたるもの、名古屋より大坂に通ずるもの、ともに、來りて、奈良にまじはる。また、これらの鐵道と連りて、和歌山縣に通ずるものあり。奈良市は、縣廳の所在地にして、北境に近し。むかし、奈良朝七代間の都のありし所なれば、名高き社寺多く、春日神社、東大寺、興福寺など、いづれも、世にあらはる。また、正倉院、博物館などあり。正倉院には、奈



東大寺大殿

良朝の遺品を多く藏す。市の産物には、筆、墨、漆器などあり。

郡山

法隆寺

奈良の西南にあたりて、郡山、法隆寺あり。郡山は奈良につげる繁華の地にして、法隆寺には、聖徳太子のたてたまひし同名の寺あり。

畝傍山

多武峯

櫻井の西南なる畝傍山のほとりには、橿原神宮、神武天皇陵などあり。その東南なる多武峯には、藤原鎌足をまつれる談山神社あり。

吉野山

多武峯より南して、吉野川を渡れば、吉野山あり。南朝の皇居のありし所にして、櫻をもつて名高し。

三重縣(伊賀、伊勢、志摩、紀伊の一部)

位置

鐵道

桑名

四日市市

三重縣は、奈良縣の東にあり、東は伊勢海に臨み、南は熊野灘に臨む。南部の海岸には、眞珠、伊勢蝦など、海産物多し。また、伊勢海の岸には、平野ありて、多く良米を産す。名古屋、大坂間を連ぬる關西鐵道は、桑名、四日市、上野を過ぎて、京都府に入る。また、



これより分れて、津にいたり、さらに、宇治山田に通ずるものあり。桑名は、揖斐川の口にありて、米の取引盛なり。四日市市は、伊勢海に臨め

三重縣 伊賀伊勢志摩全部 紀伊一部

津市
宇治山田
二見浦
鳥羽

る港にして、萬古燒、綿糸を産す。津市に縣廳あり。宇治山田は、伊勢神宮の所在地にして、近傍に二見浦あり。さらに、その東南に、鳥羽の良港あり。ともに、景色はなほだよし。

和歌山縣(紀伊の大部)

位置

熊野川
新宮
那智瀧
紀川
有田川

和歌山縣は、奈良縣の西南にあり、山地多く、木材に富めり。熊野川は、奈良縣より來り、三重縣との境をなす。その川口に近く新宮あり。新宮の西方には、名高き那智瀧あり。紀川、また、奈良縣より來る。その南方に有田川あり。有田川の附近地方には、多く、蜜柑を産す。

鐵道

高野山
和歌山市
和歌浦
黒江
位置



和歌山縣 鐵道は、奈良縣より來り、紀川とならびて、高野山の北方を過ぎ、和歌山にいたる。また、和歌山より北に向ひて、大坂府に通ずる鐵道あり。高野山には、金剛峯寺あり。和歌山市は、縣廳の所在地にして、市中、綿ふらんねるの産、はなほだ、多し。市の南に和歌浦あり、景色よし。その近傍の黒江には、盛に、漆器を産す。

大坂府(河内、和泉、攝津の東部)

大坂府は、和歌山縣の北に連り、大坂灣に臨む。東、北、南の

大坂平野

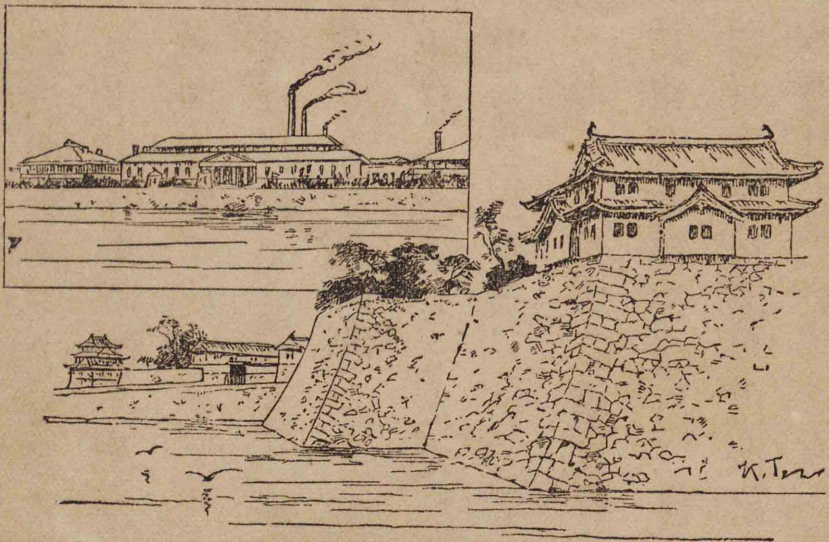
鐵道

大坂市

三方には、山をめぐらし、その間に、廣き大坂平野あり。平野の東部地方には、多く、綿をつくりて、河内木綿の製造盛なり。淀川、京都府より來り、大和川、奈良縣より來り、ともに、大坂灣にそそぐ。鐵道、これらの川とならび來りて、大坂に集り、さらに、海岸の地方を過ぎて、和歌山、兵庫二縣に通ず。大坂市は、府廳の所在地にして、東京より、およそ、百五十里の所にあり。人口九十五萬に過ぎ、わが國第二の都會にして、盛なる開港場なり。市街は、淀川の下流にまたがり、縦横に、堀河を通ず、その川口には、新に、築港の工事を



大坂城



大坂城 造幣局

おこせり。また、鐵道、この市を中心として、四方に通じたれば、水陸の交通、きはめて、便利なり。この地は、早くより、商業の盛なる所なりしが、近頃、工業、また、大いに、おこりて、多く、綿糸、まっちなどを出す。豊臣秀吉が築きたる名高き大坂城には、第四師團司令部あり、その近傍に、造幣局あり。社寺には、

堺市
岸和田

四條畷
櫻井

金剛山

池田

位置

高津神社、天王寺など名高し。大坂の南方海岸に堺市あり、室町幕府の頃には盛なる貿易港なりき。岸和田はその西南海岸にあり。
大坂の東北にあたる四條畷は、東北境に近き櫻井、東南境なる金剛山とともに、楠木氏に關係して、その名史上にあらはる。また、大坂の西北にあたりて、池田あり、酒炭などを産す。

兵庫縣(攝津、丹波の各一部、但馬、播磨、淡路)

兵庫縣は、京都、大坂二府の西にあり、南は内海に臨み、北は日本海に臨む。内海に臨める地方には、平野ありて、米の産多し。

鐵道

西宮

有馬

大坂府を経て來れる鐵道東海道線は、西宮を過ぎ、神戸にいたりて、山陽鐵道に連る。山陽鐵道は、これより、姫路を経て、岡山縣に入り、遠く、本州の西端に通ずるなり。また、京都府の福知山にいたるもの、姫路より北の方に通ずるものなどあり。

兵庫縣播磨、但馬、淡路、全部、攝津、及丹波、西部

西宮の地方は、灘と稱し、清酒の産額、はなはだ多し。西宮の西北に六甲山あり。有馬温



神戸市

泉はその北にあり。

神戸市は、縣廳のある所にして、東京より、およそ、百六十里をへだつ。市は、神戸、兵庫の二部より成る。その人口、およそ、二十八萬に及び、貿易の盛なること、横濱とならび稱せらる。市に、楠木正成をまつれる湊川神社あり。産物には、まっち、綿糸など多し。

湊川神社

須磨
明石
一谷

神戸の西南海岸には、須磨、明石など、景色よき所多し。須磨の近傍には、一谷の古戰場あり。明石は、明石海峡をへだて



神戸港

姫路市

て、淡路島と對す。

姫路市は、第十師團司令部のある所にして、革細工の産あり。その北方なる生野には、有名なる鑛山ありて、多く、銀、銅を産す。朝來川、この地方より出て、北流す。その川筋に、豊岡あり、柳行李を出す。川口に近き城崎には、名高き温泉あり。

豊岡
城崎

淡路島

洲本
由良海峡

淡路島は、大坂灣と播磨灘との間によこたはれる大島にして、その東岸に、洲本あり。大坂灣の口をなせる由良海峡には、砲臺を設く。

瀬戸内海

播磨灘より西、中國と四國との間の海を、すべて、瀬戸内海といふ。この地方、雨少くして、製塩に適し、盛なる塩田

赤穂

多し。縣の西南隅なる赤穂の如きは、ことに名高し。

第六 中國地方

中國地方十
二國

地勢
五縣

中國地方は、本州の西部にして、近畿地方の西に連る。中に因幡、伯耆、出雲、石見、隱岐、美作、備前、備中、備後、安藝、周防、長門の十二國あり。これを行政上、岡山、廣島、山口、鳥取、島根の五縣に分つ。この地方には、一つづきの山脈の、



東西にわたれるありて、地勢を、山陰、山陽の兩面に分つ。その瀬戸内海に面する地方は、港灣に富み、海上の航運便利にして、鐵道もよく、開け、海濱には、製塩の業、盛に行はる。されど、日本海に面する地方は、港灣乏しく、冬季海上、波荒くして、航海に困難なるが上に、陸には、鐵道、いまだよく、開けず、交通をほ、不便なり。山地には、砂鐵の産地多く、また、牛の飼養は、一般に、盛なり。

岡山縣(美作、備前、備中)

岡山縣は、鳥取縣と背中あはせをなして、ともに、兵庫縣の西に連る。その南は、瀬戸内海に臨み、兒島半島ありて、兒島灣を抱く。

位置

鐵道

津山

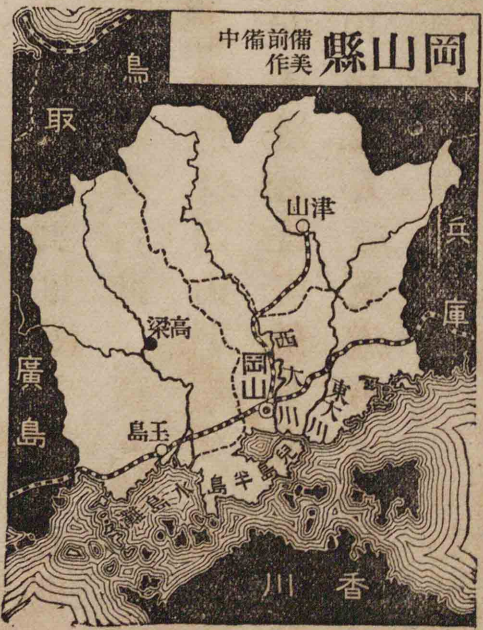
岡山市

玉島

高梁

神戸より來れる山陽鐵道は、東大川、西大川を渡り、岡山を経て、廣島縣に入る。また、岡山より北に向ひて、津山に通ずる鐵道あり。津山は雲齋織の產地なり。

岡山市は、縣廳の所在地にして、西大川にまたがり、綿糸、花筵などを産す。市に後樂園といふ名高き公園あり。兒島半島の西方の海を水島灘といふ。海岸に玉島港あり。四國との間に、汽船の往來しげし。その北方に高梁あり。これ等の地方には、麥稈、眞田の產地多し。また、疊表は、



位置

鐵道

尾道市

本縣の産物として、その産額いちじるし。

廣島縣(備後、安藝)

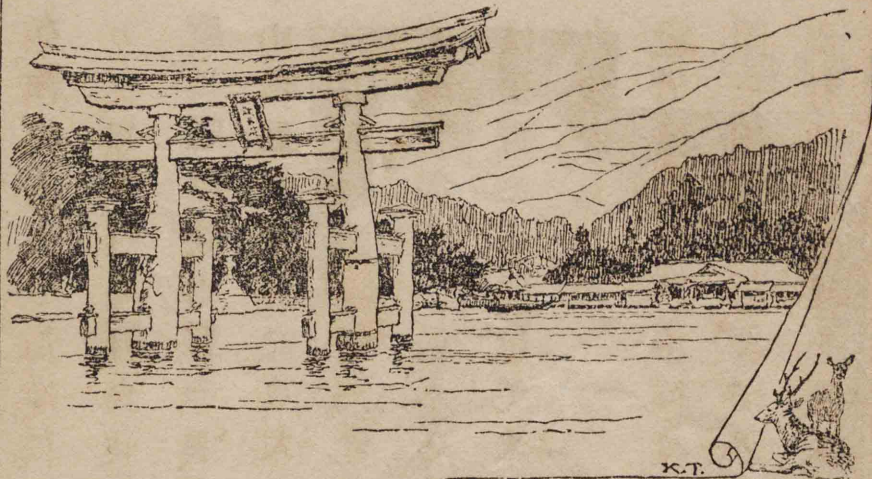
廣島縣は、岡山縣の西に連り、島根縣と背中あはせをなす。前面の海上には、大小の島島、ことに、多し。その西部には、廣島灣あり。東部の沿海の地方には、疊表を産し、備後表の名世に、高し。鐵道は、岡山縣を経て來り、尾道、糸崎、廣島を過ぎ、山口縣に入る。尾道市には、商業盛なり。



廣島市

宇品

吳市
嚴島



嚴島神社

廣島市は、縣廳の所在地にして、太田川にまたがり、東京より二百三十餘里をへだつ。その人口十二萬に近く、中國第一の都會にして、第五師團司令部あり。廣島灣に臨める宇品港は、明治二十七八年戰役の時、軍隊の船出せし所として知らる。この近海には、多く、牡蠣を産す。宇品港の東南に、吳の軍港あり。嚴島は、廣島の

位置

鐵道

岩國
三田尻

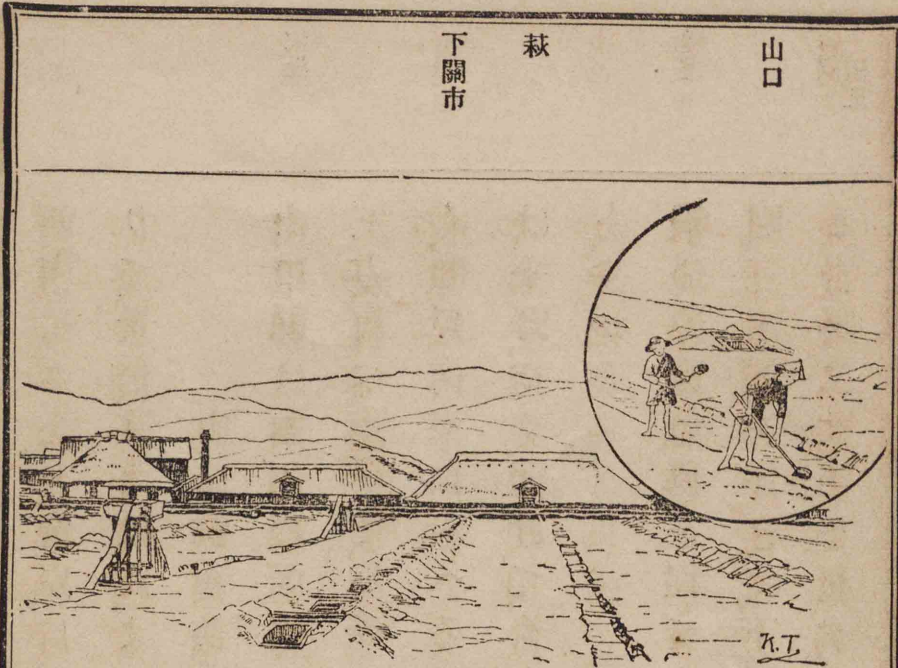
西南にあたり、海岸に近く、よこたはる。島に嚴島神社ありて、景色はなほだよし。

山口縣(周防、長門)

山口縣は本州の西端にあり。三方、海に臨みて、海産の利多く、瀬戸内海に沿へる地方には、平野、やや開けて、米の産、また、少からず。

鐵道は、廣島縣を経て來り、岩國、三田尻を過ぎて、下關に終る。岩國には、縮を産す。三田尻





三田尻近傍の塩田

の地方には、製塩の業、ことに盛なり。三田尻の西北に、山口あり、縣廳の所在地なり。これより北にあたりて、日本海岸に、萩あり、夏蜜柑を産す。下關市は、東京をさる、およそ二百九十里の所にあり。瀬戸内海の西口に臨み、下關海峡をはさみて、福岡縣の門司に對す。この地は、盛なる開港場の一にして、硯、煙草などの名

壇浦
下關海峡

位置

夜見濱

大山

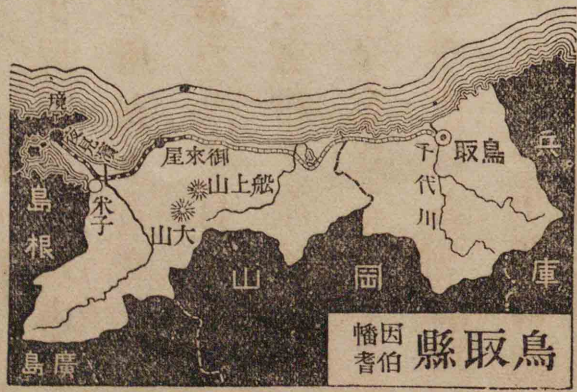
鳥取市

船上山

産あり。その東部には、壇浦の古戰場あり。下關海峡には、砲臺の設ありて、内海の入口を守る。

鳥取縣(因幡伯耆)

鳥取縣は、岡山縣と背中あはせをなして、日本海に面す。その西北隅には、夜見濱の半島、長く、突き出でて、中海の東を限る。千代川は、縣の東部を流れ、中國第一の高山なる大山は、西部にそびゆ。縣廳の所在地なる鳥取市は、千代川の下流地方にあり。大山の東北なる船上山は、名和長年の、後醍



米子

境

鐵道

位置

翻天皇を奉じて、義兵をおこしし所として、あらはる。
 中海に沿ひて米子あり、商業盛なり。夜見濱の北端には、
 境港あり。境より、米子を経て、
 東に向へる、鐵道あり。
 この地方、多く、綿を産す。



島根縣(出雲、石見、隱岐)

島根縣は鳥取縣の西南に連り、その東北

島根半島
宍道湖

斐伊川

出雲大社

松江市

三瓶山

江川

濱田



濱田港

部には、島根半島ありて、宍道湖と中海
 とを抱く。宍道湖にそそげる斐伊川の
 下流地方には、平野あり。その西岸、日本
 海に臨める杵築には、出雲大社あり。
 宍道湖の東岸に、松江市あり、縣廳の所
 在地なり。この地、遠く、西南に三瓶山を
 のぞみ、東は大山に對して、景色はなほ
 だ、よし。この近傍に、出雲燒の産地あり。
 中國第一の長流なる江川は、廣島縣よ
 り來り、縣の中部地方を流る。川口の西
 南に、濱田あり、日本海の良港なり。

隱岐
西郷

隱岐は、日本海中にあり、島前、島後の島島より成る。鯛の産多し。島後に西郷港あり。

第七 四國地方

四國

四國島は中國の南にある大島なり。中に、阿波、讃岐、伊豫、土佐の四國あり。これを、行政上、徳島、香川、愛媛、高知の四縣に分つ。

四縣

四國島は、五大島中、もとも、小さく、廣さ、本州の十二分の一



地勢

に過ぎず。一つづきの山脈、その中央にあたりて、地勢を南北の両面に分ち、南は太平洋に面し、北は瀬戸内海に臨む。内海には、島多くして、景色よく、波靜にして、汽船の往來しげし。

位置

徳島縣(阿波)

徳島縣は四國島の東部にあり。四國第一の長流なる吉野川、高知縣より來り、縣の北部を過ぐ。その川筋には、平野、やや開けて、藍を産することは、なほ、多し。南部には、那賀川あり。その水源なる劔山は、四國第一の高

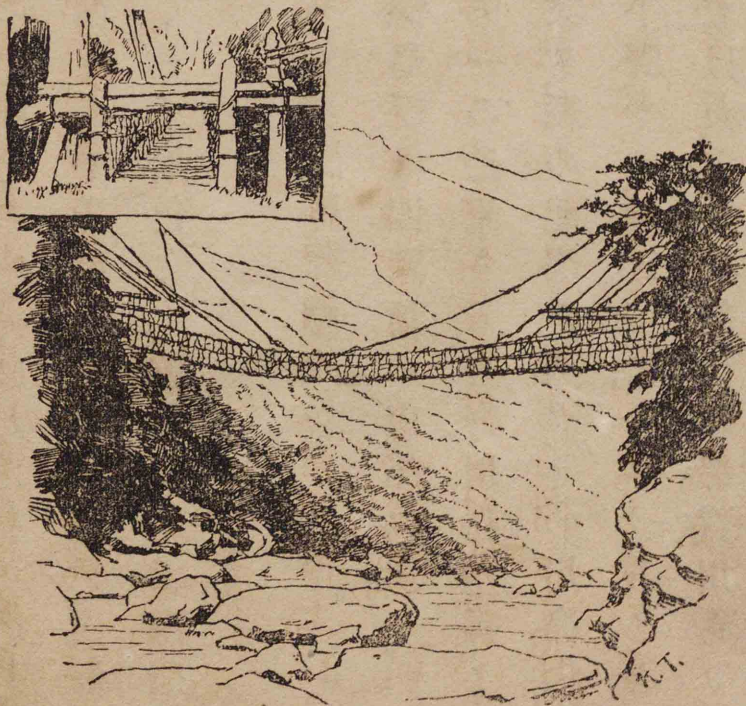
吉野川

劔山



德島市

山なり。劔山の西方、祖谷の山中には、蔓橋の奇觀あり。吉野川の口に近く、德島市あり、縣廳の所在地なり。大坂との間に、汽船の交通しげく、人口六萬にあまり、四國第一の都會なり。市に阿波縮を産す。德島の東北に撫養あり、多く、塩を産す。



橋 蔓 中 山 谷 祖

撫養

鳴門海峡

この地は、東北の方、淡路島に對して、中に、名高き鳴門海峡をはさむ。鳴門は、瀬戸内海の口にあたり、潮流、きはめて、急なり。

香川縣(讃岐)

位置

小豆島

高松市



香川縣は德島縣の北に連り、瀬戸内海に面す。海上には、島多く、小豆島も、とも、大いなり。本縣は、その面積、各府縣中にありて、も、とも、狭けれども、土地、よく、開けて、住民多く、製塩の業、ことに、盛なり。また、多く、砂糖を産す。

高松市は、縣廳の所在地にして、瀬戸内

屋島

鐵道
丸龜市

多度津

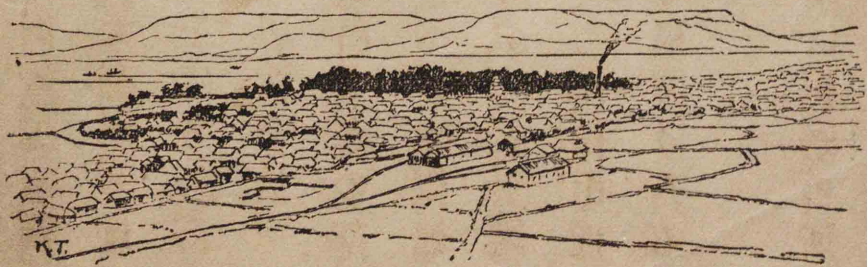
琴平

位置

海の岸にあり。東に、源平の古戰場たる屋島をのぞみて、景色よし。その南には、名高き栗林公園あり。高松より、丸龜、多度津を経て、琴平にいたるまで、鐵道通ず。丸龜市は、本縣西部の都會にして、多度津は、内海の要津なり。琴平には、金刀比羅宮あり。その近傍に、第十一師團司令部あり。

愛媛縣(伊豫)

愛媛縣は、香川縣の西南に連り、山脈をはさみて、高知縣と境す。脈中に、石鎚山



島屋と市松高

佐田岬

豊豫海峡

鐵道

松山市



愛媛縣(伊豫)

の、高く、そびゆるあり。縣の西南部には、佐田岬、遠く、海中に突き出でて、大分縣の地蔵崎と、豊豫海峡をはさむ。海岸には、新居濱、今治、三津濱、宇和島などの都邑あり。いづれも、汽船の便を有すれども、鐵道の便は、ただ、松山近傍の平地に開けたるのみ。

松山市は、縣廳の所在

道後 地にして、伊豫^{イゾ}緋^ヒを産す。その近傍には、有名なる道後^{ミチノゴ}の温泉あり。

新居濱の東南には、別子^{ベツコ}の銅山あり、銅の産額、足尾につぐ。また、新居濱の西南には、市川^{イチカハ}の鑛山あり。あんちもに一の産地としてあらはる。このほか、本縣の産物には、紙蠟なども、少からず。

高知縣(土佐)

高知縣は、愛媛縣の東南に連り、室戸^{ムロト}、足摺^{タジリ}の二岬^{シメ}、南に



道後 別子 市川 位置 室戸岬 足摺岬

土佐灣

浦戸灣

高知市

沖島

九州地方十
二國

出でて、土佐灣を抱く。その地、山多く、かつ、南方にかたよりにて、海陸ともに、交通の便十分ならず。渡川は、縣の西南部にあり。仁淀川は、中部地方を流れて、浦戸灣の西方にそそぐ。灣に臨める高知市は、縣廳の所在地なり。本縣には、海産物多し。土佐灣に鯉、鯨などの漁獵盛にして、鯉節の名産あり。西南海中の沖島の邊には、珊瑚を産す。また、陸上の産物には、土佐紙も、とも、名あり。

第八 九州地方

九州島は、本州、四國の西南にある大島にして、筑前、筑後、豊前、豊後、肥前、肥後、日向、大隅、薩摩の九國より成る。その



八縣

地勢

位置

筑後川

筑紫平野

西北海中には、壹岐、對馬あり。西南海中には、琉球あり。この十二國を、行政上、福岡、大分、佐賀、長崎、熊本、宮崎、鹿兒島、沖繩の八縣に分つ。

九州島は、五大島中、第三に位し、その面積、ほぼ、本州の六分の一にあたる。北、西、南の三面には、屬島多く、その海岸、出入に富めり。

福岡縣(筑前、筑後、豊前の西北部)

福岡縣は、九州島の北部にあり。西北は玄海灘に、東北は内海に、西南は、有明海に臨む。九州第一の大河なる筑後川は、大分縣より來り、下流は佐賀縣との境をなして、有明海にそそぐ。その兩岸には、廣き筑紫平野あり、土地肥

石炭の産地

門司市

九州鐵道

えて、米の産多し。また、北部には、遠賀川あり。その上流地方は、熊本縣の境に近き三池とともに、石炭の産地として、もとも、あらはる。縣の東北端に門司市あり、近年おこりたる開港場なれども、しだいに、繁昌におもむき、商業盛なり。九州鐵道は、山陽鐵道との間に汽船の連絡をたもちて、この地におこり、小倉、福岡、久留米などの諸市を過ぎ、三池炭坑の近傍を経て、熊本縣に入る。また、これより分れて、内海の



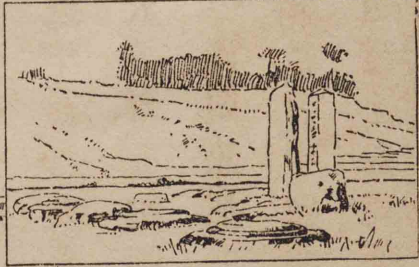
小倉市

若松

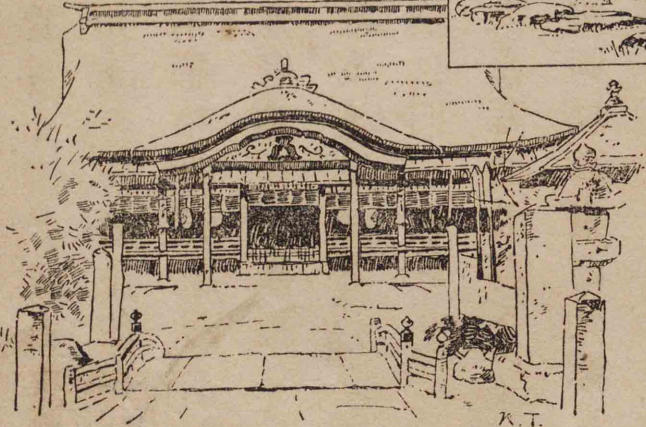
製鐵所

福岡市

博多



太宰府の遺址と太宰府神社



沿海地方に通ずるもの、遠賀川の上流なる炭坑地方に通ずるものなどあり。小倉市には、第十二師團司令部あり。その

西北にあたり、入海をへだてて、若松あり、門司とともに、多く、石炭を積み出す。近傍に製鐵所の設あり。福岡市は、縣廳の所在地にして、福岡、博多の二部より成る。市の近傍に醫

太宰府

科大學の設あり。博多は、古來、史上に名高き港にして、博多織を産す。博多の東南なる太宰府は、むかし、廣く、九州地方を治めたる役所のありし所にして、菅原道真をまつれる太宰府神社あり。

久留米市

久留米市は筑後川に沿ふ。この地方には、多く久留米耕を産す。

大分縣(豊前の東南部、豊後)

位置
國東半島
別府灣

大分縣は、福岡縣の東南に接して、瀬戸内海に面し、國東半島、東北部にありて、別府灣の北を限る。半島の地方には、疊表を産すること、はなはだ、多し。

鐵道

鐵道は、福岡縣より山國川を過ぎて來り、中津を過ぎて、

中津 耶馬溪 宇佐 別府 大分



溫泉をもつて、あらはる。その西北に鶴見、由布の二火山あり。大分は縣廳の所在地なり。

佐賀縣(肥前の東北部)

宇佐の近傍にいたる。中津は山國川の口にあり。山國川の上流なる耶馬溪は、山水の景をもつて、世に知らる。宇佐には、名高き八幡宮あり。

別府灣の海岸には、別府、大分などの都邑あり。別府は、

位置

鐵道

佐賀市
有田

伊萬里

唐津

名古屋



佐賀縣は福岡縣の西に連る。その東南部は、筑紫平野の一部をなして、有明海に臨み、西北部は、半島をなして、唐津灣と伊萬里灣との間に、突き出づ。

鐵道は、福岡縣より來り、佐賀、有田を経て、長崎縣に入る。佐賀市は縣廳の所在地にして、有田は陶器の製造の盛なる所なり。有田の西北に、伊萬里あり、鐵道通ず。

唐津は唐津灣に臨める良港なり。その東南の地方には、多く、石炭を産し、唐津より、これ等の炭坑地を経て、鐵道の設あり。唐津の西北に、名古屋あ

位置

半島と島

鐵道
大村灣

佐世保市

長崎市

り、豊臣秀吉が朝鮮をうちし時に、本營を置きし所なり。」
長崎縣(肥前の西南部、壹岐、對馬)

長崎縣は、佐賀縣の西南に連れる半島の地方と、その西より北に散在する數多の島島とより成る。半島には、彼杵半島、島原半島など、いちじるしく、島には、五島、平戸島、壹岐、對馬など、いちじるし。これ等の島島には、いづれも、海産物多し。ことに、五島、平戸島の近海は、鯨をもつて、名高く、對馬には、鰯はなほ、多し。

佐賀縣を経て來れる鐵道は、大村灣に沿ひて、長崎にいたる。また、佐世保の軍港に通ずる支線あり。
長崎市は、いにしへより、名高き開港場にして、縣廳の所

在地なり。その人口、およそ十五萬、九州第一の都會にして、

鼈甲

細工

煙草

など

を産

す。その港内水深く、碇泊に便なり。また、名高き造船所あり。島原半島の中央には、温泉岳、高く、そびゆ。南端に口津港

温泉岳
口津



長崎縣

肥前西南部
壹岐對馬全部

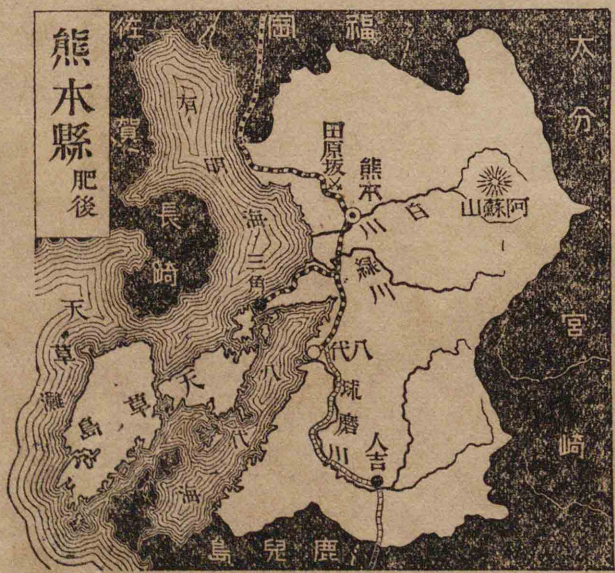
あり。

五島は、平戸島と壹岐とに向ひて、西南より斜に、東北にならべり。平戸島の東北にあたる鷹島は、元寇の古蹟としてあらはる。

五島
鷹島
壹岐、對馬

壹岐、對馬は、日本海の口によこたはる。中にも、對馬は、近く、韓國に對し、軍事上の要地なれば、その竹敷は、海軍の要港となり、嚴原には、警備隊を置けり。

熊本縣(肥後)



熊本縣

肥後

位置

阿蘇山

白川

肥後平野

球磨川

鐵道

田原坂



阿蘇山の遠望と火の口

熊本縣は、福岡縣の南に連り、西の方、有明海、八代海に面す。東北部に、阿蘇山あり、名高き、火山なり。この地方馬多し。白川、これより出でて、西に流れ、肥後平野を過ぎて、有明海に入る。平野には、米、粟などの農産物多し。また、南部には、球磨川あり、急流なれども、なほ、舟運の便あり。鐵道は、福岡縣より來り、西南の役の際、激戰のありし田原

三角
熊本市

八代
天草島

位置

霧島山

坂の近傍を過ぎ、熊本を経て、南の方八代にいたる。また、三角港に通ずる支線あり。熊本市は、縣廳の所在地にして、白川にまたがる。名高き熊本城には、第六師團司令部あり。八代は球磨川の口にあり。三角の西南には、天草島あり、その外海を天草灘といふ。

宮崎縣(日向)

宮崎縣は、熊本縣と背中あはせをなして、日向灘に臨む。海岸には、出入少くして、細島のほか、良港と稱すべきものなく、他の三方は、山脈にて限られたれば、交通不便なり。その南部地方には、山林多くして、良材を出す。西南境には、霧島山あり、北境には、祖母山あり。霧島山は名高き

祖母山 大淀川 都城 宮崎 五箇瀬川 日平 延岡 位置



り。また、北部なる五箇瀬川の川筋には、日平など、銅の産地あり。その川口に近く、延岡あり。

鹿兒島縣(大隅、薩摩)

鹿兒島縣は九州島の南端にあり。大隅、薩摩の二大半島

火山にして、祖母山は九州第一の高山なり。大淀川は霧島の附近より出づ。その上流に都城あり。川口に近き宮崎は、縣廳の所在地なり。

川内川 開聞岳 櫻島

南に出でて、中に鹿兒島灣を抱く。その西南の海上には、琉球に向ひて、數多の島島、あひならべり。縣の北部に川内川あり。薩摩半島の南端に開聞岳あり。また、鹿兒島灣内には、櫻島あり。櫻島とあひ對して、縣廳の所在



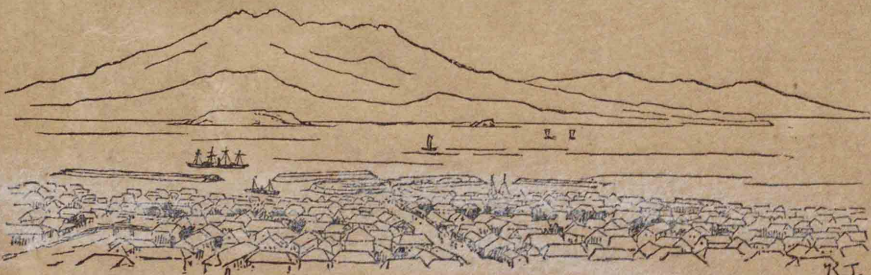
鹿兒島縣ノ一 大隅大部 薩摩大部

鹿兒島市

地なる鹿兒島市あり。市は、明治十年、西南の役のおこりし所にして、薩摩燒、薩摩餅など、名高し。その西南には、錫の產地あり。

鐵道 國分 山野 種子島 屋久島

鐵道、鹿兒島よりおこり國分を過ぎて、北に向ふ。國分は、煙草の產地として、あらはる。北境に近く、山野金山あり、多く金を産す。本縣には、この他にも、所所に金山ありて、金の産額はなほだ、多し。また、多く、馬を産す。島には、種子島、屋久島、大島など、いちじ

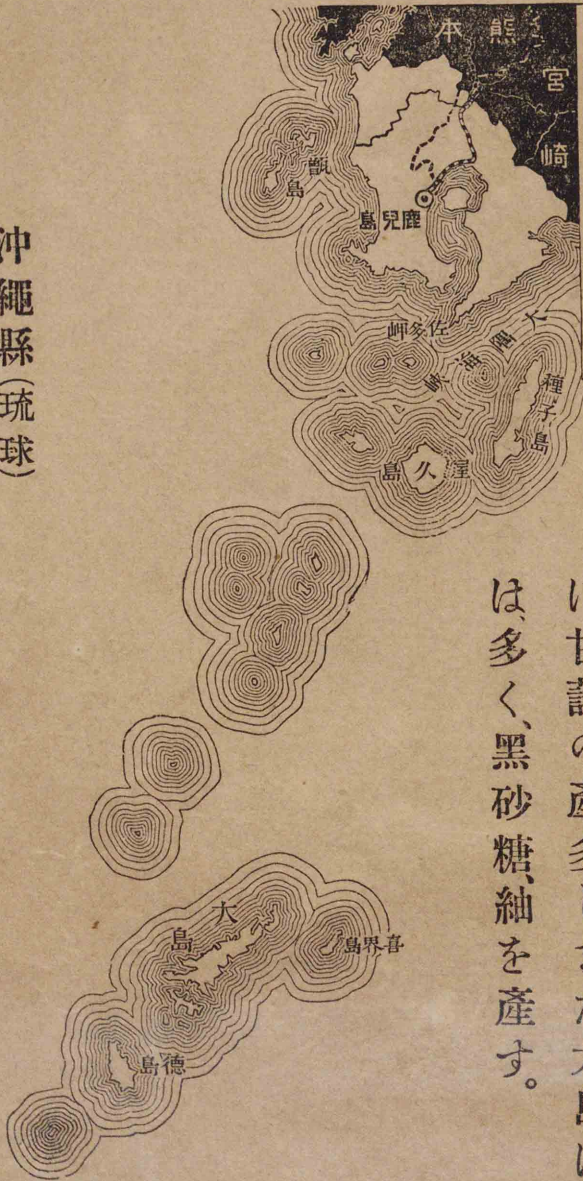


鹿兒島市と櫻島

大島

本圖と次の沖繩縣の圖との縮尺は三百六十分、十萬分の大の割合なり

鹿兒島縣ノ一 西南諸島



るし。これ等の島島には、一般に、甘藷の産多し。また、大島には、多く、黒砂糖、紬を産す。

沖繩縣(琉球)

沖繩縣は、鹿兒島縣の諸島とともに、飛石の如く、九州島と臺灣島との間に、ならべり。中に、沖繩島、もとも、大なり。

位置

位置
北海道十一國

北海道廳
十六支廳

面積

地勢

北海道は、わが國の東北部にありて、北海道本島と千島とより成る。本島の中には、渡島、後志、石狩、天塩、北見、膽振、日高、十勝、釧路、根室の十國あり。千島は、その東北海中に連り、ロシヤのカムチャッカ半島に對して、飛石の如くにならべる數多の島島より成る。合せて十一國あり。北海道廳を置き、その下に、十六の支廳を設けて、全道を治めしむ。

本島の面積は、九州島と臺灣島とを合せたるものよりも、やや、廣くして、五大島中の第二に位す。千島は、その面積ほぼ、四國に近し。

本島には、南北に連れる一つづきの山脈あり。その中部

本圖の縮尺は
四百五十萬分
の一なり

地方は、土地高くして、高山に富めり。中にも、ヌタクカムウシユベ岳、もとも、あらはる。石狩川、天塩川、十勝川などの諸大川、多く、源をこの中央の高地に發す。そのほとりには、たいてい、廣き平



氣候

野あり。西南部は、半島をなして、内浦灣を抱く。この地方には、駒岳、ウス岳、タルマイ岳などの名高き火山多く、マカリ岳は、その形富士に似て、蝦夷富士の名あり。本道は、その地、北



人口 開墾

函館區

にかたよれるがゆゑに、氣候寒けれども、雪は、本州の日本海に面する地方よりも少し。本道は、いにしへは、蝦夷島といひても、ばら、あいぬ人の住する所なりしが、わが政府、大いに、開拓に意を用ひしかば、近年、他の地方より移住するものはなほだ、多く、今は、全道に、百餘萬の住民あり。開墾の業、しだいに、進みて、豆、馬鈴薯、麥などの農産物、年年、多くなり、牧畜の業も、また、盛になれり。海岸は、一般に、漁業盛にして、鮭、鱒、鱈、鱈、昆布などの水産物多し。西南部なる半島地方の端は、津軽海峡をへだてて、本州の青森縣に對す。海峡に臨める函館は、名高き開港場に

五稜廓

して、青森との間に、汽船の交通しげく、その人口九萬にあまり、北海道第一の都會なり。この近傍なる五稜廓は函館氷の産地なり。函館より北の方、小樽に向へる鐵道は、その一部、すでに、開通せり。

福山
江差

半島の西南岸に福山あり、西岸に江差あり。これ等の地方より以北、西部一帯の海岸は、漁業、ことに、盛なり。

石狩平野

石狩川の附近には、石狩平野の、廣く、連れるありて、開墾の業、大いに、進めり。石狩川は、長さ、九十餘里に及び、信濃川につげる大川なり。その支流に臨める札幌は、北海道廳の所在地にして、麻布、びーるなどの大いなる製造場あり。小樽は、その西北の海岸にある良港にして、本道中、

石狩川

札幌區

小樽區

鐵道

函館につぎて、商業の盛なる開港場なり。

鐵道、小樽より、東に向ひ、札幌を過ぎ、岩見澤に

たりて、南北に分る。一は、苫小牧より、海岸を経て、室蘭港に通じ、一は、石狩川の上流地方に向ふ。また、石狩の諸炭山に通ずる支線あり。室蘭は内浦灣の口にあり、多く、石炭を積み出す。

苫小牧の東方に沙流川あり。この

室蘭

沙流川



盛裝せある會長の



あいの家の屋

あいぬ人

ほとりには、あいぬ人の村落多し。あいぬ人は、むかしは、
廣く、本州にも住みたりしが、今は、本道全體に通じて、そ
の數、二萬に足らず。多くは、漁獵を業とし、開化すこぶる、
おくれたり。

石狩の諸炭山

石狩の炭山には、夕張、幌内、空知など、名高し。この他にも、
北海道には、石炭の産地多く、その産額は、いまだ、遠く、九
州に及ばざれども、將來、ますます、増加の見込あり。

鐵道

石狩川の上流地方に向へる鐵道は、旭川にいたりて、ま
た、二つに分る。一は、東南、十勝に向ひ、一は、北に向ひて、天
塩川の上流に及ぶ。旭川には、第七師團司令部あり。この
地方、寒氣はなほだし。

旭川

稚内

北に向へる鐵道は、天塩川に沿
ひて下り、つひに、本島北端の稚
内にいたらんとする豫定なり。

宗谷岬

稚内の東北なる宗谷岬は、宗谷
海峡をはさみて、ロシヤのカラ
フト島に對し、日本海とオホー
ツク海とをへだつ。オホーツク

枝幸

海に臨める枝幸の地方
には、砂金を産す。この他
にも、本道には、砂金の産
地多く、金の産額、近年、こ



(岸沿室根)業漁の上氷

面積

形、南北に長く、面積はほとんど九州島に近し、海岸には、出入少く、屬島、きはめて、まれなり。

本圖の縮尺は
三百六十萬分
の一なり



新高山

島の、やや、東にかたよりて、南北にわたれる山脈あり。脈中の新高山は、高さ、一萬四千餘

氣候

尺に及び、わが國第一の高山なり。山脈の西方には、平野、廣く、連りて、川流多く、農業、盛に、行はれて、茶、米、甘蔗、落花生などを産す。氣候は、なほ、だ、暖にして、雨多く、榕樹、あななす、芭蕉など、暖地性の植物よく、茂り、米の如きは、一年二、三回の收穫あり。東部は山地にして、蕃人住し、いまだ、開けざる所、多し。

總督府

二十廳

人口

支那よりの
移住民

この地は、もと、清國の領地なりしが、明治二十七八年戰役に、よりて、わが國に屬することとなり、臺灣總督府の下に、二十の廳を置きて、これを治む。人口は、およそ、二百八十萬ありて、たいてい、支那より移住せしものなり。これ等の人民は、主として、平野地方に

蕃人

住し、もっぱら農商の業をなす。このほかに、また、十餘萬の蕃人あり。これを生蕃と熟蕃とに分つ。生蕃は、今、なほ、未



開のままにて、殺伐の風あり。熟蕃は、やや、開けて、多くは、農を業とす。近年、内地より移住

基隆 鐵道

臺北

するもの、また、少からず。島の東北隅に基隆港あり、内地との間に、汽船の交通しげし。この近傍には、石炭、金などの産地あり。鐵道、この地よりおこり、臺北を経て、新竹にいたり、さらに、西南に向ふ。この鐵道は、他日、臺中を経て、南部の鐵道と連る豫定なり。

臺北は、臺灣第一の都會にして、總督府のある所なり。市街は、支那風にして、周圍に城壁をめぐらす。城外の市街を合せて、人口、およそ、七萬餘あり。



蕃 生

大稻埕

淡水

臺中
彰化

塗葛窟

臺北の近傍には、茶の産多く、城外の大稻埕には、その製造盛なり。大稻埕より、西北に向ひて、鐵道あり、淡水港にいたる。この港は、淡水河の口にありて、清國との間に、交通しげく、茶、樟腦の輸出盛なり。中部地方には、臺中、彰化などの市街あり。彰化の西北なる塗葛窟



甘 蔗 園

嘉義

臺南

安平

打狗

恒春

澎湖島

媽宮

には、貿易盛なり。彰化の南方にあたりて嘉義あり。打狗よりおこれる鐵道、臺南を過ぎて、ここに通ず。臺南は本島の西南部にあり。かつて、臺灣の首府たりし所にして、舊時の遺蹟多く、西に安平港をひかへて、市街盛なり。この地方には、多く、砂糖を産し、安平、打狗の兩開港場より、これを輸出すること多し。南部地方の砂糖は、茶、樟腦とともに、この島の名産なり。島の南端に近く恒春あり。澎湖島は、臺灣海峽にあり、數多の島島より成りて、中に、媽宮の要港を抱く。軍事上、航海上、ともに、必要の所なり。

第十一 地球

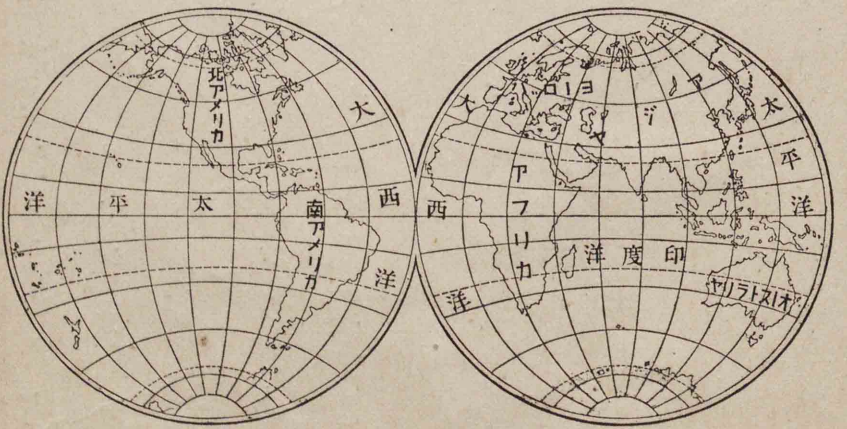
大陸
六大陸
大洋
三大洋

世界には、わが國の外に、陸地をほ、多し。陸地のこと、大なるものを、大陸といふ。わが國は、アジヤといふ大陸の東にある島國にして、韓國、清國などは、この大陸の中の國なり。アジヤのほか、世界には、ヨーロッパ、アメリカ、北アメリカ、南アメリカ、オーストラリヤの五大陸あり。この六大陸のほか、大小の島島、また、はなはだ、多し。海の大なるものを大洋といふ。世界には、太平洋、大西洋、印度洋の三大洋あり。日本海、東支那海の如きは、太平洋に屬する海なり。

水陸の面積比較

わが國と關係ふかき諸國

世界の陸地の面積は、水の面積のおよそ、三分の一に過ぎざれども、これを、わが國にくらぶれば、およそ、三百三十倍あり。かく、廣き陸地の上には、數多の國あり。そのおもなるものは、たいてい、わが國と條約を結びて、關係することに、ふかし。アジヤにては、韓、清、シムあり。ヨーロッパにては、イギリス、ロシヤ、ドイツ、フランス、オーストリヤ、ハンガリー、イタ



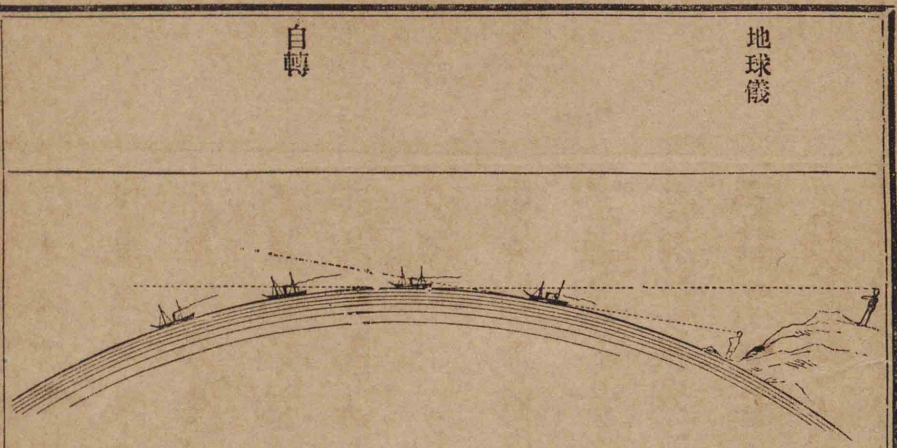
西半球

東半球

リヤ、オランダ、ベルギー、イスパニヤ、ポルトガルなどあり。北アメリカにては、アメリカ合衆國、メキシコ、南アメリカにては、ブラジル、アルゼンチンなどあり。また、オーストラリヤは、全部、イギリス國に屬し、北アメリカのカナダも、また、この國に屬す。ともに、わが國と關係すこぶる、深し。

世界は、その表面、平なるが如くなれども、實は、橙の實の如き形をなしたるものなり。ゆゑに、これを地球といふ。されば、今、横濱より出でて、西へ西へと進まば、ふたたび、もとの横濱に歸るを得べし。また、海邊に立ちて、遠ざかり行く船を見るに、船の進むに従ひて、しだいに、その下

地球の形



地球儀

自轉

部よりかくれ、つひには、檣をも見るを得ざるにいたるなり。地球儀は、地球の形に似せて造りたるものなれば、これにつき、て、その、しかる道理を、さとるべし。われ等は、また、晝夜の順序正しく、めぐり來るを見る。これは、地球が、たえず、西より東に向ひ、二十四時間ごとに、一回轉をなすによるなり。かく、回轉するを、自轉といひ、この一自轉の間を、一日といふ。かくて、地球の、太陽に向へる半面は晝となり、これにそむける半面は夜となるなり。

軌道
公轉

地軸

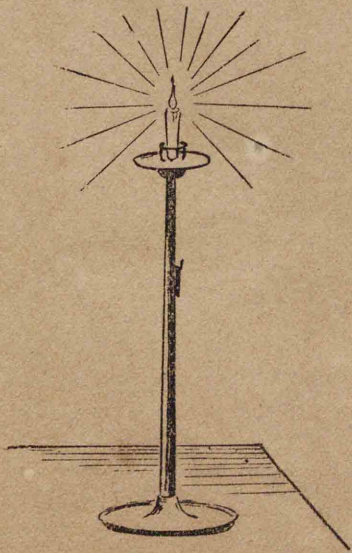
晝夜の長短

四季の區別

また、地球は、かく、自轉しつつ、およそ、三百六十五日ばかりの間に、一定の軌道を通りて、太陽を一周す。これを公轉といふ。一公轉の間は一年なり。

地球の自轉の軸となるものを地軸といふ。地軸は、軌道面に對して、斜の位置をたもてり。ゆゑに、地球が、自轉し、また、公轉するにあたり、

地球の各部が、太陽に對する位置の關係、一樣ならずして、ために、晝夜に長短の差を生じ、一年の間に、四季の區別を生ず



地球の表面
における位
置

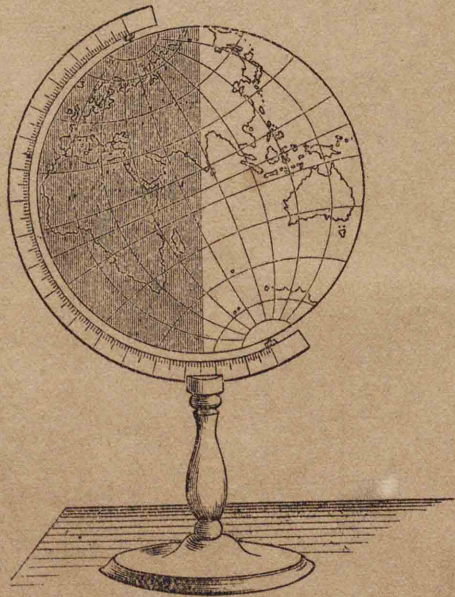
北極

南極

赤道

るなり。

地球の表面において、地軸を本として、ある場所の位置を定むるを得ずなはち、まづ、地軸の一端を北極とし、他の端を南極と定む。つぎに、地球の表面において、かりに、南北兩極より、等しき距離の所に、一の線を設け、これを赤道と名づく。また、赤道に並行せる横の線と、兩極を結びつくる縦の線とを、



緯線

經線

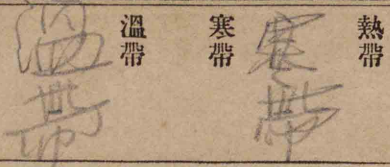
緯度

經度

地球の表面に設け、この横の線を緯線といひ、縦の線を經線、または子午線といふ。かくて、赤道より、南北兩極にいたる間を、緯線によりて、おのおの、九十度づつに分ち、各一度を、さらに、六十分に分ち、赤道を本として、北緯何度何分、南緯何度何分とかぞふ。また、經線によりて、地球の表面を、三百六十度に等分し、イギリス國グリニチの天文臺を通ずる子午線を本とし、これより、はじめて、東經何度何分、西經何度何分とかぞへ、おのおの、百八十度にいたりてやむ。この緯度、經度によりて、地球の表面における位置を、明に、示すを得るなり。たとへば、わが東京天文臺は、北緯三十五度三十九分、東經百三十九度四十

五分にありといふが如し。

地球の表面の氣候は、水陸の位置、土地の高低などの有様によりて、變化あり、おなじ緯度の地にて、も、かならずしも、おなじからず。されど、大體においては、赤道近傍は、太陽の光を眞上にうけて、暑さはなほだし。これを熱帯といふ。兩極に近き地方は、太陽の光を、ことに、斜にうけて、寒さはなほだし。これを寒帯といふ。熱帯と寒帯との間には、寒暑とも、その中を得たる所あり、これを溫帯といふ。溫帯地方は、人類の住居に、も、とも、適するがゆゑに、今日、世界のおもなる國國は、たいてい、この中にあり。わが國の如きは、臺灣の南部、わづかに、熱帯に入れども、



その他は、みな、温帯に屬す。

小學地理 一一終

附錄

府縣管轄表(二)

滋賀縣	京都府	奈良縣	三重縣	和歌山縣	大阪府	兵庫縣	岡山縣	廣島縣	山口縣	鳥取縣	島根縣	
近江全部	山城、丹後全部、丹波の大部	大和全部	伊賀、伊勢、志摩全部、紀伊の一部	紀伊の大部	和泉、河内全部、攝津の一部	但馬、播磨、淡路全部、攝津、丹波の一部	以上近畿地方	美作、備前、備中全部	備後、安藝全部	周防、長門全部	因幡、伯耆全部	出雲、石見、隱岐全部

沖繩縣	鹿兒島縣	宮崎縣	熊本縣	熊本縣	長崎縣	佐賀縣	大分縣	福岡縣	以上四國地方	高知縣	愛媛縣	香川縣	德島縣	以上中國地方
琉球全部	大隅、薩摩全部	日向全部	肥後全部	肥前的一部、壹岐、對馬全部	肥前的一部	豐前的一部、豐後全部	筑前、筑後全部、豐前的一部	土佐全部	伊豫全部	讚岐全部	阿波全部			

大分縣

明治三十六年十月廿八日 文部省印刷
 明治三十六年十月三十日 文部省發行
 著作權所有 著者

文部省

明治三十七年二月五日 翻刻印刷
 明治三十七年二月十二日 翻刻發行
 明治三十八年一月十日 再版發行

小學地理卷二

定價金八錢

廣島市大手町二丁目五十九番邸

翻刻發行者 早 速 勝 三

大阪市東區唐物町四丁目八十番屋敷

印刷者 教育圖書合資會社

代表者 濱本伊三郎

明治三十三年十二月二日
 文部省檢査濟

發行所

教育圖書合資會社

大阪市東區唐物町四丁目八十番屋敷

庫

04

213

広島大学図書

2000071213

